

さて、旅行中においても引率の先生方は、生徒の体調と安全に気づかい、適切に対応してくださいました。旅行に行くことができた3年生もまた節度をもった行動により、安全な旅を行いながら、非日常を楽しめたとの報告を受けました。また、3年生が留守の期間は、2年生のリードにより1・2年生がきちんと学校生活を回してくれました。我が西中の生徒や先生方は本当に立派なので、安心して任せられます。

「旅は人を成長させる」とも言いますが、私は次に控える「かざこし祭」「かざこし学習発表会」「生徒会引継ぎ」「進路決定」等々に向けて、3年生のますますの活躍に期待を寄せているところですし、1・2年生がしっかり支えてくれると信じています。

ところで、先ほど「旅は人を成長させる」と言いましたが、「旅をすると、なぜ人は成長するのでしょうか。」調べてみると、様々な考え方に合うことができます。

例えば、哲学者アウグスティヌスはこう言ったのだそうです。「世界は一冊の本のようなものだ。旅をしない人々は、その本の同じページしか読んでいないのと一緒にだ。」

旅が世界旅行でなくても、国内の見知らぬ土地に出かけて、その土地の風土や文化、様々な人との触れ合いなどを体験すると、自分の中の世界観が広がったりとか、自身の価値観に変化が生じて、自分の悩みのちっぽけさに気づいたりすることがあります。

また、今回の3年生は公共交通機関を利用しましたが、ちゃんと目的地にたどり着くことができるのだろうかと不安になった人がいたことと思います。

しかしながらこのようなときに、コミュニケーションをとって人に頼るとか、様々な情報を組み合わせて行動ルートを考えてみたり、こうしようと決断したりすることによって乗り切ったことと想像します。

つまり旅をすることは、**自分自身の器が広く深くなったり、判断力や決断力をも養ったりすることにつながる**と思うのです。**教科書とは異なる学びを体験してきたのです。**

加えて、先人の経験上から「可愛い子には旅をさせよ」という諺もありますが、私も皆さんには、いずれ一人旅をすることを勧めたいと思います。差し当たっては、人生の一人旅・自分探しの旅に向けて、自分が行く道・進路は自分自身で決めてほしいと願っています。

そこで、「自分自身で決める」ということに関わって、「人生は選択の連続である」という言葉を紹介します。

この言葉は、シェイクスピアの「ハムレット」という作品の一節なのだそうです。私はこの作品を観劇したことがないので、あらすじ等をきちんと伝えることができなくて申し訳ないのですが、この「人生は選択の連続である」というフレーズに心が惹かれました。

先ほど「**人生の旅では自分が行く道・進路選択は自分自身で**」と言いましたが、どの高校に行くのか、どんな職業に就くのかなど、人生における大きな決断の中での選択はもちろんのこと、私たちは朝起きてから寝るまでにも、実に様々な選択の場面に遭遇しています。

例えば、朝目覚めたときに、起きようかもう少し寝ていようか。朝食を食べるのか食べないのか。登校中出会った人に挨拶をするのかしないのか。止まるのか進むのか。右に行くのか左に行くのか。授業中手を挙げようか挙げまいか。部活に出ようかさぼろうか。ゲームにするか勉強にするかなどなど、なるほど人生や日常生活においては、選択（ときには葛藤）の連続と言うのは頷けます。

1 学期終業式で、「心が変われば 行動が変わる 行動が変われば 習慣が変わる 習慣が変われば 人格が変わる 人格が変われば 運命が変わる」というフレーズと、「夏休み中の家庭学習が習慣となり充実することを期待したい」ということを伝えました。選択するまでもなく、行動が習慣になっていけば、より良い人生が待っているかもしれません。

ルーティンを大切にする大谷翔平選手や松井秀喜選手、イチロー選手などのようにストイックな生活を好む人もいれば、ついつい楽な方へ自分の身を置きたがったり、怠けたりする人もいます。プレッシャーやストレスに強い人もいれば、くじけやすい人もいるなど、人は多種多様、千差万別ですから、様々な生き方をしています。

共通することは、**過去の選択の連続が今の自分を作り上げて**  
**いる**ことだと思います。しかし、過去のことは変えることが  
できません。ただし、これからの人生で考えてみると、**今こ**  
**こから始まる未来**においても「選択は連続」していくこと  
すから、今を生きる私たちは今後どちらを選択 (choice) す  
るかの方がとても重要になってくると思います。

様々な誘惑の中、何気なく選んで生きているかもしれませんが、若くて伸び盛りの皆さんには、是非とも自分にとってプ  
ラスになる選択肢の方を選んでほしいと希望します。また、  
様々な選択場面をトータルで考えたときには、勝ち越せてい  
たらといいなと思うのです。

選択という「**choice**」が「**chance**」になって、「**challenge**」  
すれば、きっとより良い自分に「**change**」できるのではない  
でしょうか。

話を結びます。新型コロナウイルス感染症の収束が未だ見え  
ず混沌とし、来週の学年行事も変更を余儀なくされますが、  
先生方はどのようにすれば生徒たちにとってより良い活動に  
なるかを考えて準備をし、連絡をとったり何度も打ち合わせ  
をしたりしています。

併せて、羽場・丸山まちづくりや公民館、市役所関係はじめ、  
地域の方々のご理解やご支援もいただいているという、素晴  
らしい地域環境の中にも忘れるはなりません。

2学期がスタートしました。目に見えないウイルスとの闘い  
は続きます。感染源になる可能性がある場合は休む、そして  
感染経路を絶つ、栄養・睡眠・運動の健康三原則で抵抗力を  
高めることを継続し、人権を大切に、前向き思考で難局を  
乗り切りながら、今学期も笑顔を出していきましょう。